

令和3年度 長崎県立宇久高等学校関係者評価 報告

- 1 評価の実施期日・場所
感染症防止対策として令和4年2月に書面開催
- 2 学校関係者評価委員 3名
- 3 学校評価の内容
 - (1) 自己評価の結果について
 - (2) 自己評価を踏まえた今後の改善策について
 - (3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

全員から「適切である」という評価をいただいた。

- 4 関係者からの意見
 - コロナ禍何かと制約がある中で、充実した取り組みが実施できている。特にICTを活用した授業を取り入れるなど、教育環境も充実していて、先生方のご努力に感謝する。
 - コロナ禍の中、教育活動の成果は確実に出ている。
 - Uku Laboの実施については毎年楽しみにしている。
 - 保護者の評価については、学校での指導だけに限らず、将来への不安とか複雑な思惑が含まれているのではないかと思う。それにひきかえ生徒は純粋に学校生活の中での評価だと思うので現場の生の声ととらえてよいと思う。
 - 学校評価アンケートの結果から、教職員が生徒をしっかりと見守ることができていると感じる。
 - 大切な思い出作りが思うようにできない状況の中、工夫して行事等を実施されていることにご苦労を感じる。
 - 読書の習慣を身に付けることは大切なことだと、私自身が一番実感しているので、ぜひ改善策を考えてほしいと思う。
 - 進路指導の個別指導への転換は適していると思う。
 - 地域の資源を活用した体験を実施して、地域との連携を深めてほしい。
- 5 学校側の対応等
 - 少人数だからこそできる指導や学校行事に自信を持ち、次年度も個を大事にした指導を継続したい。
 - ICT機器を活用し、さらに授業・探究活動・学校行事の充実を図りたい。
 - 探究活動Uku Laboにおいての見直しを進め、地域との協働した活動の充実を図りたい。
 - 朝の読書の時間を有効に使いつつ、読書についての啓発活動に力を入れたい。
 - 学校としても今まで同様に教育活動の充実に努力し、生徒や保護者に選んでもらえる、魅力ある学校づくりを推進したい。その上で、島外生の受け入れなどの際には地域から様々なご協力をいただきたいと考えている。